

個別施設計画

策定年月 R3.1

施設名	井原高等学校北校地		所在地	井原市井原町1802	
敷地面積	27,402.80 m ²		棟数	36 棟 (計画記載対象 10 棟)	
延床面積	7,695.53 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 -		浸水 -	
建築規制	非線引都市計画区域、第一種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2019年度)	電気 167,152 kwh	ガス 281 m ³	水道 2,009 m ³	燃料 (灯油) 4,000 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 井原市指定緊急避難場所(洪水・土砂災害・地震)				

1 施設内建物の概況

名称	普通教室棟(46棟)15-1	普通教室棟(48棟)15-2	特別教室棟(47棟)13-2
築年(西暦)	1969年	1970年	1967年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	225.57 m ²	159.14 m ²	0.00 m ²
延床面積	676.71 m ²	477.42 m ²	395.98 m ²
主要な用途 (室名等)	普通教室	普通教室	理科室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	不適
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	特別教室棟(68棟)28	管理特別棟(49棟)17-1	管理特別棟(50棟)17-2
築年(西暦)	1980年	1970年	1971年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 3階
建築面積	328.40 m ²	164.53 m ²	288.85 m ²
延床面積	985.21 m ²	232.95 m ²	864.04 m ²
主要な用途 (室名等)	調理教室 音楽室	用具室	事務室 教務室 美術教室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

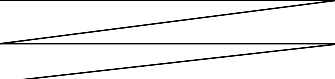
※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 \geq 0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	管理特別棟(51棟)17-3	体育館(54棟)22	部室・更衣室棟(69棟)29-1,2
築年(西暦)	1972年	1974年	1982年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄骨造 1階	鉄筋コンクリート造 2階
建築面積	220.57 m ²	1221.41 m ²	216.63 m ²
延床面積	661.71 m ²	1477.09 m ²	216.63 m ²
主要な用途 (室名等)	保健室 図書室	体育館	部室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 給排水設備 消火設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備
利用状況	中	中	中
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	格技場(70棟)31	
築年(西暦)	1982 年	
構 造	鉄骨 造 2 階	
建築面積	0.00 m ²	
延床面積	378.45 m ²	
主要な用途 (室名等)	格技場	
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備)	
利用状況	中	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	
	中性化 ※3	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
普通教室棟(46棟) 15-1	予防保全を図る。
普通教室棟(48棟) 15-2	予防保全を図る。
特別教室棟(47棟) 13-2	長寿命化改修を行う。
特別教室棟(68棟) 28	長寿命化改修を行う。
管理特別棟(49棟) 17-1	予防保全を図る。
管理特別棟(50棟) 17-2	長寿命化改修を行う。
管理特別棟(51棟) 17-3	長寿命化改修を行う。
体育館(54棟) 22	予防保全を図る。
部室・更衣室棟(69棟) 29-1,2	長寿命化改修を行う。
格技場(70棟) 31	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

1 長寿命化改修
 内部・外部の改修を行う。
 (47、68棟)2020年度設計・2021年度以降施工
 (50、51棟)2023年度以降設計・施工 (69棟)2025年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
普通教室棟(46棟)15-1	予防保全				予防保全を図る。						
普通教室棟(48棟)15-2	予防保全				予防保全を図る。						
特別教室棟(47棟)13-2	長寿命化改修				設計	施工 5					
特別教室棟(68棟)28	長寿命化改修				設計 47棟に 含める	施工 47棟に含める					
管理特別棟(49棟)17-1	予防保全				予防保全を図る。						
管理特別棟(50棟)17-2	長寿命化改修							設計・施工 2			
管理特別棟(51棟)17-3	長寿命化改修							設計・施工 50棟に含める			
体育館(54棟)22	予防保全				予防保全を図る。						
部室・更衣室棟(69棟)29-1,2	長寿命化改修									設計・施工 1	
格技場(70棟)31	予防保全				予防保全を図る。						

4. 概算費用

総額 8億円(長寿命化改修)